

2008年度人間環境学コロキウム

# イエと人間

## 今・昔・将来の家族

2月16日(月)14:00~17:30 シンポジウム

■会場

九州大学箱崎地区文系キャンパス 文・教育・人環研究棟2階人環会議室

■講師

太田素子(教育学, 和光大学現代人間学部心理教育学科教授)

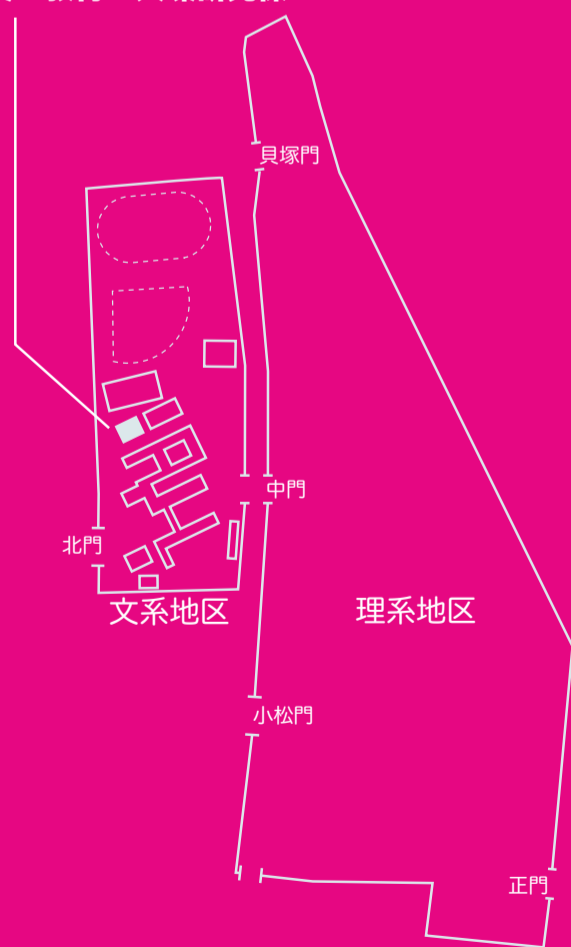
西川祐子(仏・日本近現代文学, 元京都文教大学人間学部教授、

『住まいと家族をめぐる物語-男の家、女の家、性別のない部屋』の著者。)

宮本佳明(建築家, 大阪市立大学大学院工学研究科兼都市研究プラザ教授)

\*敬称略、五十音順

文・教育・人環研究棟



**本**年度の人間環境学コロキウムでは、「イエと人間」の関係を検討し、家族のあり方について新たな視点を提示することをめざしています。

**江**戸時代の家族の姿から、近現代に家族形態がどのように変化し、住宅はモデルチェンジしたか、そして将来の家族の姿はどのように見通され、どこに向かっているのか？本企画は、「家族の絆」を安易に前提とすることの危険性を考え、皆が同じような家族を構成しているという認識から脱することによって、多様な家族が抱える「問題」を新たな視点から捉え直すことを試みます。

**文**学、教育学、建築学の専門家をお招きし、学生を交えて、家族について自由な議論が行えることを期待しています。